

軽症・気軽

コンビニ受診 はおやめください

緊急性の低い軽症者が、コンビニ感覚で気軽に救急医療機関を利用する「コンビニ受診」。

北海道による調査から、二次救急医療機関^(※)を利用した人の76%が「軽症」で、

そのうち32%は治療を必要としない「特に軽症」という実態が明らかに。

医療スタッフの負担と疲弊を増大させ、本当に緊急性の高い患者の治療にも影響を及ぼしかねない「コンビニ受診」。

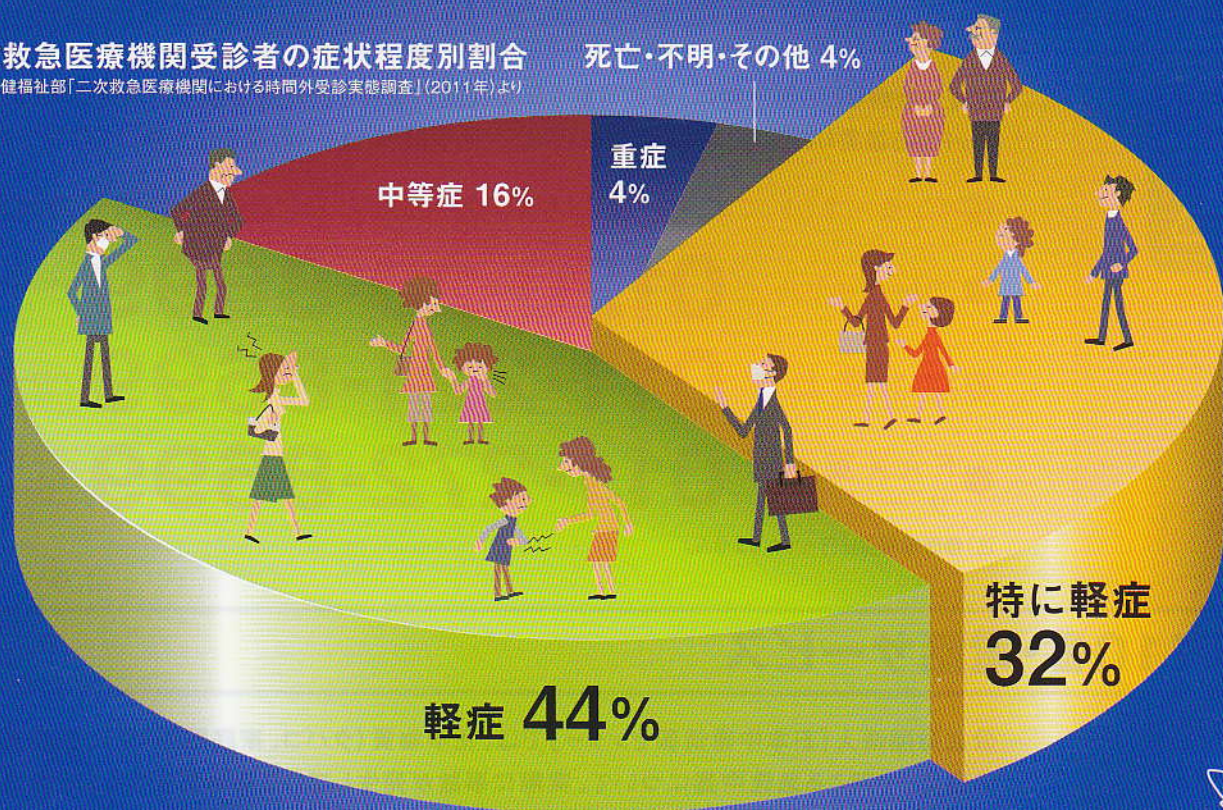
救急医療体制の危機的状況を立て直すため、いま一人ひとりの適切な受診行動が求められています。

ただし、明らかに緊急性があると判断された場合は、迷わず救急車・救急医療機関を利用してください。

(※)入院治療を必要とする中等症以上の患者が対象

●二次救急医療機関受診者の症状程度別割合

北海道保健福祉部「二次救急医療機関における時間外受診実態調査」(2011年)より



「救急」なのに、
76%が「軽症」!?

北海道医師会



●適切な受診行動のための相談&情報窓口

北海道小児救急電話相談



夜間、子どもの急な病気やケガなどの際に、直ちに救急病院にかかる必要があるか、家庭でどのような手当てをすればよいか、看護師が電話相談に応じます。より専門的な知識を要する場合は、小児科医が助言・アドバイスをを行います。

- 電話番号 / **011-232-1599**
- 短縮ダイヤル / **#8000** (プッシュ回線、携帯電話)
- 受付時間 / **毎日午後7時～午後11時**

注) ●呼吸停止や大けがなどで明らかに重症と分かるときは、直ちに119番通報を。
●緊急性のある小児の相談窓口です。育児相談などはご遠慮ください。

北海道救急医療・広域災害情報システム



ケガや急病などの緊急時に、受診可能な医療機関の情報を24時間体制で提供しています。インターネットから最寄りの医療機関の通常診療時間などを調べ、日ごろの適切な受診にも役立てましょう。

- インターネット / <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
- フリーダイヤル / **0120-20-8699** ハローキューキュー
- 携帯電話 / **011-221-8699** ハローキューキュー
- FAX案内サービス / **011-272-8699** ハローキューキュー (音声応答)

注) ●医療相談は行っていません。

中毒110番・電話サービス



公益財団法人「日本中毒情報センター」では、化学物質(タバコ、家庭用品など)、医薬品、動植物の毒などで起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し、応急処置などの情報提供をしています。

- 一般市民専用電話(情報提供料/無料)
 - つくば / **029-852-9999** 365日 9時～21時 対応
 - 大阪 / **072-727-2499** 365日 24時間対応
- タバコ専用電話(情報提供料/無料)
 - 電話番号 / **072-726-9922** 365日 24時間対応 テープによる情報提供